

非小細胞肺癌の生検検体における細分類に免疫染色を用いる有用性についての検討

1．研究の対象

2009年5月から2015年4月までに国立がん研究センター東病院で組織の検体採取(生検)を受け、非小細胞肺癌-特定不能(NSCLC-NOS)と診断された進行期(III B, IV期)の非小細胞肺がんの患者さんの診療録・生検検体のブロックを対象とします。

2．研究目的・方法

目的：

研究の目的は、免疫染色によって NSCLC-NOS を扁平上皮癌、腺癌の傾向に分類する意義を明らかにすることです。

方法：

本研究は、2009年5月～2015年4月に国立がん研究センター東病院で生検検体から形態的に NSCLC-NOS と診断された進行期非小細胞肺がんの患者さんの診療録から必要な情報を収集します。また、過去に行った生検検体のブロックを用いて免疫染色を行い、腺癌・扁平上皮癌の傾向を判定します。情報収集の作業に当たる人員は医療知識のある研究者です。この作業で収集した情報を通じて、それぞれの免疫染色から細分類されたグループの特徴を検討します。

研究実施期間 2年

3．研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、病理組織学的診断、化学療法の治療歴、全生存率 等

試料：生検病理組織検体、手術病理組織検体

4．試料・情報の公表

本研究の成果に関しては、国内外の学会、論文で公表する。本研究の研究成果は、国立がん研究センターへ帰属するものとする。

5．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

国立がん研究センター東病院 呼吸器内科 太田 登博

FAX 04-7131-4724/TEL 04-7133-1111

研究責任者：

国立がん研究センター東病院 呼吸器内科 後藤 功一